

# 新型コロナウイルス感染予防対策

## ○ 新型コロナウイルスの特徴 ○

このウイルスは、唾液などから分離・確認されています。

日常生活において、手指や密集状況での会話、会食などを通じて感染が起きています。

## ○ 日々の心構え ○

風邪や季節性インフルエンザと同様に、一人一人の感染症対策が重要です。

3密を避けて、手洗いや咳エチケットを実施。

日頃から検温等の健康観察を行い、体調に不調が見られるときは、無理をせず、研究室等に連絡して指示を受けて下さい。

【参考:厚生労働省 感染症対策へのご協力をお願いします】



## ○ 手洗い・消毒 ○

ウイルスは、手指に付着したウイルスを口元等に持つていくことで感染する！

手洗いや手指や、手指が接触しやすい場所の消毒を徹底。

【参考:消毒方法について】

手指:石けん・消毒用アルコールなど(工業用アルコールは用いない)

手指が接触しやすい場所:塩素系漂白剤(ハイター、ブリーチ、ピューラックス等)



## ○ 登校・出勤について ○

風邪かなと思った時は無理せず自宅待機、各研究室に必ず連絡(Mail/電話)

呼吸困難、倦怠感、高熱等の強い症状のいずれかがある時は、

下掲の 相談窓口あるいは電話・オンライン診療に連絡

状況を逐次、各研究室に報告(Mail/電話)

○京都大学保健診療所 :075—753—2405

○きょうと新型コロナ医療相談センター:075—414—5487(平日・土・日・祝日 24 時間対応)

○山城北保健所(電話相談窓口):0774—21—2911(平日 8 時 30 分～17 時 15 分)

○電話・オンライン診療サイト



◇ [https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/kenkou\\_iryuu/iryuu/rinsyo/index\\_00014.html](https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/kenkou_iryuu/iryuu/rinsyo/index_00014.html)

	風邪様症状発症時	感染した時	濃厚接触者 となった時	同居者が濃厚接触者 となった時
あなたが すること	<b>直ちに研究室に報告</b>			
	<b>健康観察</b> (体温や症状の記録) 研究室の指示に従う。	<b>保健所・医師の 指示</b> に従い <b>診療・療養</b>	<b>14日間自宅待機</b> 風邪症状が出た時は 研究室等へ連絡する。	<b>14日間体調観察</b> 経過観察の結果を報告 同居者に症状が無ければ 登校・出勤可